






<b>研修会・研究会 実施計画書</b> <b>政務活動費《事前》審査書</b>					整理番号	0304002	/	1	枚目	
					会派名	自由民主党				
					議員名	織田 伸一				
<input type="checkbox"/>	調査研究費	第三者機関承認欄			会派承認欄					
<input checked="" type="checkbox"/>	研修費	受付日	責任者	担当者	起案日	代表者	役員	経理責任者	事務員	申請者
<input type="checkbox"/>	広報広聴費				R3.11.18					
<input type="checkbox"/>	要請・陳情活動費	承認日			承認日					
<input type="checkbox"/>	会議費				R3.11.19					
<input type="checkbox"/>	資料作成費	特記事項(第三者機関)			特記事項(会派)					
<input type="checkbox"/>	資料購入費				0304002 織田伸一					
<input type="checkbox"/>	人件費				0317006 高田真里					
<input type="checkbox"/>	事務費				0314001 舎川智也					

項目	内容	留意点														
1 実施者	織田伸一 高田真里 舎川智也															
2 実施日程	令和3年11月30日(火)															
3 行程 ※県外での 研修会・研 修会への参 加時に記入	富山 8:31 → 金沢 8:53 金沢 16:10 → 富山 16:33	政務活動のため の合理的な経路 か。政務活動以 外の行程が含ま れていないか。 宿泊が必要か。														
4 研修・研究 1	<table border="1"> <tr> <td>研修会・研究会名</td><td>目指すべき次世代スマートリージョン…EBPMの活用</td></tr> <tr> <td>講師等</td><td>地方創生研究室・佐無田 光氏(金沢大学人間社会研究域教授)</td></tr> <tr> <td>開催日程</td><td>令和3年11月30日(火) 10:00~12:00</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>金沢勤労者プラザ</td></tr> <tr> <td>研修会・研究会の目的・内容</td><td>エビデンスを活用した「次世代スマートリージョン」の実現により地域社会の課題解決実現を目指すには。 (目的)持続可能な地域経済・財政を構築するため。</td></tr> </table>	研修会・研究会名	目指すべき次世代スマートリージョン…EBPMの活用	講師等	地方創生研究室・佐無田 光氏(金沢大学人間社会研究域教授)	開催日程	令和3年11月30日(火) 10:00~12:00	開催場所	金沢勤労者プラザ	研修会・研究会の目的・内容	エビデンスを活用した「次世代スマートリージョン」の実現により地域社会の課題解決実現を目指すには。 (目的)持続可能な地域経済・財政を構築するため。	目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等 具体性、調査方法の妥当性、事前調査の結果等の内容				
研修会・研究会名	目指すべき次世代スマートリージョン…EBPMの活用															
講師等	地方創生研究室・佐無田 光氏(金沢大学人間社会研究域教授)															
開催日程	令和3年11月30日(火) 10:00~12:00															
開催場所	金沢勤労者プラザ															
研修会・研究会の目的・内容	エビデンスを活用した「次世代スマートリージョン」の実現により地域社会の課題解決実現を目指すには。 (目的)持続可能な地域経済・財政を構築するため。															
研修・研究 2	<table border="1"> <tr> <td>研修会・研究会名</td><td>目指すべき次世代スマートリージョン…自治体の財政分析</td></tr> <tr> <td>講師等</td><td>地方創生研究室・武田 公子氏(金沢大学経済学経営学系教授)</td></tr> <tr> <td>開催日程</td><td>令和3年11月30日(火) 13:00~15:00</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>金沢勤労者プラザ</td></tr> <tr> <td>研修会・研究会の目的・内容</td><td>自治体独自に行う財政データ公表の在り方について 研究者向けのデータ提供により可能になることは何かについて (目的)財政データの公開による有効活用を模索するため。</td></tr> </table>	研修会・研究会名	目指すべき次世代スマートリージョン…自治体の財政分析	講師等	地方創生研究室・武田 公子氏(金沢大学経済学経営学系教授)	開催日程	令和3年11月30日(火) 13:00~15:00	開催場所	金沢勤労者プラザ	研修会・研究会の目的・内容	自治体独自に行う財政データ公表の在り方について 研究者向けのデータ提供により可能になることは何かについて (目的)財政データの公開による有効活用を模索するため。					
研修会・研究会名	目指すべき次世代スマートリージョン…自治体の財政分析															
講師等	地方創生研究室・武田 公子氏(金沢大学経済学経営学系教授)															
開催日程	令和3年11月30日(火) 13:00~15:00															
開催場所	金沢勤労者プラザ															
研修会・研究会の目的・内容	自治体独自に行う財政データ公表の在り方について 研究者向けのデータ提供により可能になることは何かについて (目的)財政データの公開による有効活用を模索するため。															
5 実施経費 及び 政務活動 費の支出 予定額 (振込手数料 を含まず)	<table border="1"> <tr> <td>交通費</td><td>5,720 円 (富山⇄金沢 往復)</td></tr> <tr> <td>日当</td><td>3,000 円</td></tr> <tr> <td>研修費</td><td>15,000 円×2=30,000 円</td></tr> <tr> <td>振込手数料</td><td>-</td></tr> <tr> <td>合計額</td><td>38,720 円</td></tr> <tr> <td>案分率 (充当率)</td><td>100%・50%</td></tr> <tr> <td>支出額</td><td>38,720 円</td></tr> </table>	交通費	5,720 円 (富山⇄金沢 往復)	日当	3,000 円	研修費	15,000 円×2=30,000 円	振込手数料	-	合計額	38,720 円	案分率 (充当率)	100%・50%	支出額	38,720 円	対象費用及び単 価見積が適切か 政務活動費充当 方法は適切か。 按分率適用の分 母は適切か。(混 在不明確な部分 は当初除外して あるか。)
交通費	5,720 円 (富山⇄金沢 往復)															
日当	3,000 円															
研修費	15,000 円×2=30,000 円															
振込手数料	-															
合計額	38,720 円															
案分率 (充当率)	100%・50%															
支出額	38,720 円															
6 取引規定	抵触していない	取引制限の確認														

旅 費 計 算 書

会派名	自由民主党
実施予定日	令和3年11月30日(火)
視察・調査予定地	会場：金沢勤労者プラザ 住所：石川県金沢市北安江3-2-20

月 日	経 路	鉄道賃	特急料金	航空料金	車賃	日当	宿泊料	計
		距離 (km)	距離 (km)		距離 (km)			
		金額 (円)	金額 (円)		金額 (円)			
11 ・ 30	富山→金沢	58.6	58.6			3,000		5,860
		990	1,870					
11 ・ 30	金沢→富山	58.6	58.6					2,860
		990	1,870					
・								
・								
・								
・								
・								
小計		1,980	3,740			3,000		8,720
合計		1,980	3,740			3,000		8,720

参加人数                      3人

著作権法により  
公開できません。

# 大学と地方政治の 連携基盤構築を 目指す研究会



EBPMを活用。産官学金体制で「次世代スマートリージョン」を実現！

地方議員  
のための  
勉強会

## 第一回

## 目指すべき「次世代スマートリージョンとは？」

本研究会の大学側代表・佐無田先生による研究会全体の狙いの説明の他、持続可能な地域経済・財政を検討するため、地域経済・社会・財政を数字で見て、県内・北陸の事例を示しながら、比較検討を行います。

2021年 (令和3) **11月30日[火]** 会場：金沢勤労者プラザ  
金沢市北安江3-2-20 4階・405研修室

### 第一部 10:00~12:00

#### 内容：「EBPMの活用」

本研究会の大学側代表による、全体のガイダンス。  
EBPM (Evidence-based Policy Making エビデンスに基づく政策立案) を活用した「次世代スマートリージョン」の実現により、地域社会の課題解決実現を目指す狙い。

講師



**佐無田 光** (さむた ひかる)

金沢大学人間社会研究域教授  
先端観光科学研究センター長

博士(経済学)。専門は地球経済学。研究テーマ：サステナブルな地域発展。

主な著作：『きみのまちに未来はあるか？』(共著、2020年)、『地域包括ケアとエリアマネジメント』(共編著、2019年)、『北陸地域経済学』(共編著、2007年) など。

### 第二部 13:00~15:00

#### 内容：「自治体の財政分析」

財政は自治体の活動の基盤。自治体が行う財政データの公表のあり方、住民に対する公開の在り方について、さらには研究志向のデータ提供によって可能になる事とは何かを語る。

講師



**武田 公子** (たけだ もみこ)

金沢大学経済学経営学系教授

専門は地方財政論。主な単著として、『地域財政と自治体行財政』(世界思想社、2011年)、『ドイツ・ハルツ改革における政府間行財政関係』(法律文化社、2016年)、『データベースで読み解く自治体財政』(自治体研究社、2018年) など。

## EBPMを活用。産官学金体制で「次世代スマートリージョン」を実現！

行政機関の仕事のあるべき姿に立ち返るための仕組みとして、今期待されているのが「EBPM」です。行政機関においては、民意によって選ばれた議員の声やさまざまなアンケートの結果、有識者の意見を参考にしながら、何らかの根拠に基づいて政策を立案・実行していました。エビデンスとなるデータを集めようにも、予算や資源、人材の面で限界がありました。しかし近年、ビックデータや人口知能AIの活用により膨大なデータから一見見えにくい傾向の抽出が可能になりました。さらに、SNSやネット上の膨大な情報やIOTを活用し、実社会の克明な動きを把握することも可能となりました。EBPMは、ICTが急激に進化したからこそ、実践できるようになった考え方といえます。このEBPMの基盤となる様々なデータや最新技術に関して、大学教員と情報交換を行い、地域の産官学金連携体制の構築や、未来につながる社会実験を、地方議員による政治主導で推進し、制度化・政策化を実現していくため、本研究会を企画・開催します。

### 第一回

## 目指すべき「次世代スマートリージョンとは？」

2021年(令和3)11月30日[火] 第一部10:00~12:00/第二部13:00~15:00

金沢勤労者プラザ 金沢市北安江3-2-20 4階 405研修室 TEL.076-221-7771

対 象：県会議員・市町村議員30~50名程度

参加費：15,000円(1部・1講座あたり/税込) ※午前・午後どちらの部にもご参加の場合30,000円

※メールにてお申し込み頂くが、以下申込書に必要事項をご記入いただき、FAXにてご送信ください

参加部会	✓をご記入ください <input type="checkbox"/> 第一部「EBPM の活用」 <input type="checkbox"/> 第二部「自治体の財政分析」	
所属 (議会名・会派名など)		
氏名	ふりがな	
住所	〒	
電話番号 (携帯電話)	FAX番号	
e-mail	日常的に受信できるPCアドレス	
領収証の要・不要	<input type="checkbox"/> 必要 宛名・議会名・会派・氏名・その他( ) <input type="checkbox"/> 不要	



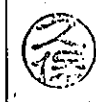










※ご記入頂きました個人情報は、本事業の実施・運営にのみ利用いたします。

参加お申し込み先  
FAX:076-298-8904

labo@r-sr.co.jp

Facebook  
@regionalrevital



<b>研修会・研究会 実績報告書</b> <b>政務活動費【事後】審査書 兼 支出伝票</b>					整理番号	0304002	2	1	枚目		
					会派名	自由民主党					
					議員名	織田 伸一					
<input type="checkbox"/>	調査研究費	第三者機関承認欄			会派承認欄						
<input checked="" type="checkbox"/>	研修費	受付日	責任者	担当者	起案日	代表者	役員	経理責任者	事務員	申請者	
<input type="checkbox"/>	広報広聴費				R3.12.8	    					
<input type="checkbox"/>	要請・陳情活動費	承認日			承認日						
<input type="checkbox"/>	会議費				R3.12.9						
<input type="checkbox"/>	資料作成費	支払日(口座振込完了日)				起案日	支払完了報告				
<input type="checkbox"/>	資料購入費	支払件数	年	月	日	R3.12.9	代表者	経理責任者	事務員	申請者	
<input type="checkbox"/>	人件費	1	3	12	9	承認日					
<input type="checkbox"/>	事務費					R3.12.9					

特記事項(第三者機関)	特記事項(会派)
	0304002 織田伸一 0317006 高田真里 0314001 舍川智也

項目	内容		留意点
1 実施者	織田伸一 高田真里 舍川智也		
2 実施日程	令和3年11月30日(火) ✓		
3 行程 ※県外での 研修会・研 修会への参 加時に記入	富山 8:31 → 金沢 8:53 金沢 15:42 → 富山 16:04		政務活動のため の合理的な経路 か。政務活動以 外の行程が含ま れていないか。 宿泊が必要か。
4 研修・研究1	研修会・研究会名	目指すべき次世代スマートリージョン…EBPMの活用	目的と市政、行 政課題等の関連 性、調査内容等 具体性、調査方 法の妥当性、事 前調査の結果等 の内容
4 研修・研究1	講師等	地方創生研究室・佐無田 光氏(金沢大学人間社会研究域教授)	
	開催日程	令和3年11月30日(火) 10:00~12:00	
	開催場所	金沢勤労者プラザ	
	研修会・研究会の目的・内容	エビデンスを活用した「次世代スマートリージョン」の実現により地域社会の課題解決実現を目指すには	
4 研修・研究2	研修会・研究会名	目指すべき次世代スマートリージョン…自治体の財政分析	
	講師等	地方創生研究室・武田 公子氏(金沢大学経済学経営学系教授)	
	開催日程	令和3年11月30日(火) 13:00~15:00	
	開催場所	金沢勤労者プラザ	
4 研修・研究2	研修会・研究会の目的・内容	自治体独自に行う財政データ公表の在り方について	

項 目	内 容	留意点
5. 研修会・研究会の内容	<p>研修・研究 1 大学と地方政治の連携基盤構築を目指す研究会 第一回 目指すべき「次世代スマートリージョンとは？」</p> <p>第 1 部「EBPM の活用」 地方創生研究室・佐無田 光氏（金沢大学人間社会研究域教授） エビデンスを活用した「次世代スマートリージョン」の実現により地域社会の課題解決実現を目指すには。</p> <p>研修・研究 2 大学と地方政治の連携基盤構築を目指す研究会 第一回 目指すべき「次世代スマートリージョンとは？」</p> <p>第 2 部「自治体の財政分析」 地方創生研究室・武田 公子氏（金沢大学経済学経営学系教授） 自治体独自に行う財政データ公表の在り方について</p>	<p>目的と市政、行政課題等の関連性、調査内容等具体性、調査方法の妥当性、会派内での報告・情報共有等の対応等</p>
5. 市政への影響、反映、成果等	<p>研修・研究 1 今、社会ではさまざまなデータがとられ蓄積されている。これらは最大限の資源であり、可能性の宝庫である。一方で、例えば行政がもっているデータの提供はまだ進んでいない。これらを活かすことによって得られる利益が埋没している。本市においてもデータ提供や活用される環境をさらに推進してゆく必要がある。また、EBPM において先駆的な活用を行っている石川県羽咋市の例を知ることができた。さらに研究し、本市のスマートシティ戦略への活用を図りたい。</p> <p>研修・研究 2 ここ 5 年ほどでデータが活用可能な形式で公開され DL できるようになり、調査研究が格段に省力化した。特に地方財政状況調査 DB は広範で詳細なデータ、経年変化も把握できるようになった。財政データの公開によって研究者・住民の分析機会をつくることは、多層的なチェックや、新たな発見にもつながるものでありこれを進めて行く必要がある。また、住民向け財政事情の公表においてもさらなる分析や表現の工夫が必要であり、本市に対してこれらを求めていきたい。</p>	<p>政務活動のみ の内容か。 政務活動以外 の政党活動、 選挙活動、 後援会活動等 とみなされる 表現、構成に なっていない か。</p>
その他 及び 政務活動 以外で取 り扱った 内容		<p>政務活動費を 支出できる内 容か。 (全額、1/2 支出不可)</p>

項 目		内 容			留意点
実施経費 及び 政務活動費支出額	鉄道費	支出金額	3, 670 円	支出方法 <input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	対象費用及び 単価見積が適 切か。 政務活動費充 当方法は適切 か。 按分率適用の 分母は適切 か。 (混在不明確な 部分が対象。 明確な部分は 当初除外して あるか。)
		支出先	西日本旅客鉄道株式会社		
		支出内容 及び 積算根拠	富山⇄金沢 自由席日帰り往復割引切符 前日に購入したところ、割引適用となったため、 事前申請時の金額よりも 2,050 円安くなった。 変更前 5,720 円 → 変更後 3,670 円		
	研修 参加費	支出金額	15,000 円	支出方法 <input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
		支出先	地方創生研究室		
		支出内容 及び 積算根拠	令和 3 年 11 月 30 日 (火) 10:00~12:00 1 講座…15,000 円		
	研修 参加費	支出金額	15,000 円	支出方法 <input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
		支出先	地方創生研究室		
		支出内容 及び 積算根拠	令和 3 年 11 月 30 日 (火) 13:00~15:00 1 講座…15,000 円		
	日当	支出金額	3, 000 円	支出方法 <input type="checkbox"/> 債権者口座 <input checked="" type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
		支出先	織田 伸一議員		
		支出内容 及び 積算根拠	3,000 円×1 日=3,000 円		
		支出金額		支出方法 <input type="checkbox"/> 債権者口座 <input type="checkbox"/> 議員口座 (立替)	
		支出先			
		支出内容 及び 積算根拠			
取引規定		抵触なし			
経費総額		36,670 円	按分率 (充当率)	100%・50%	
按分率適用 対象経費 及び 按分理由					
政務活動費 支出(充当)額		36,670 円			



## 旅 費 計 算 書

会派名	自由民主党
実施日	令和3年11月30日(火)
視察・調査予定地	会場：金沢勤労者プラザ 住所：石川県金沢市北安江3-2-20

月 日	経 路	鉄道賃	特急料金	航空料金	車賃	日当	宿泊料	計
		距離 (km)	距離 (km)		距離 (km)			
		金額 (円)	金額 (円)		金額 (円)			
11 ・ 30	富山→金沢→富山	117.2	117.2					
		※1	3,670			3,000		6,670
小計			3,670			3,000		6,670
合計			3,670			3,000		6,670

※1 前日に購入したところ、割引適用となったため、事前申請時の金額よりも2,050円安くなった。変更前 5,720円→変更後 3,670円

参加人数

3人

著作権法により  
公開できません。

著作権法により  
公開できません。

№0304002

金沢大学

人間社会学域 教授・先端観光科学研究センター長  
学長補佐(社会共創推進担当)

佐 無 田 光 博士(経済学)

〒920-1192 金沢市角間町

TEL

FAX

E-mail:



金沢大学経済学経営学系 教授

経済学博士

武 田 公 子

〒920-1192 金沢市角間町

Tel/Fax

1 講義目 10:00~12:00



2 講義目 13:00~15:00





富山県議会 自由民主党 領収書  
織田 伸一 様

書

L No. 8951-43

金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
						¥	3	6	7	0

- ただし、①乗車券類(消費税及び地方消費税を含んでいます。)  
2. チャージ(消費税は非課税です。)  
3. クレジット扱い(No )  
4. その他( )

上記の金額を領収しました。

2021年11月29日

西日本旅客鉄道株式会社

発行箇所 富山駅

収入印紙  
(200円)  
5万円未満不要  
100万円超のものは  
印紙税額一覧表  
による



890-05-15900

№0304002

## 振 替 証 明 書

会派名 自由民主党

金 額	36,670 円
-----	----------

上記金額を次の者の口座へ振替したことを証明します。

令和 3年 12月9日

経理責任者 久保 大憲

氏 名	<u>織田 伸一</u>	受領印	
-----	--------------	-----	--



№0304002

13

年 月 日	摘 要	お 支 払 い 金 額 (円)	お 預 かり 金 額 (円)	差 し 引 き 残 高 (円)
1 03-12-08*		*36,670	普通預金 高田真里子	*23,100,809
2 03-12-08*		*3,380	普通預金 高田真里子	*23,097,429
3 03-12-09*		*36,670	普通預金 高田真里子	*23,060,759
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

(お知らせ)

- 通帳のご提出のあるお取引のときは年月日別に\*と表示します。
- 証券類をお預け入れのときは、お支払い金額別に次のとおり表示します。

タケノコ 〇〇-〇〇

トリタデー 〇〇-〇〇

お支払いできる日

お支払できる期間は、所定の  
不経過日時間経過後となります。

(最終差引き残高を新通帳へ繰り越しました。)

13

## 普通預金通帳

店番号

口座番号

富山市自由民主党様

北陸銀行



## 質問

- 大学と地方政治の連携  
→何ができると思いますか？
- データやエビデンスを政策に活用  
←議員としてできることは何でしょうか？

2

## スマートリージョン論の体系

- 1. 商品経済からプラットフォーム経済へ
- 2. 地域プラットフォームと多層的ガバナンス
- ③ スマート社会のインフラとしてのデータサイエンス
- 4. EBPMと異分野連携
- 5. 地域人材エコシステム

4

大学と地方政治の連携基盤構築を目指す研究会

第1回

目指すべき次世代スマートリージョンとは？

2021年11月30日

佐無田光(金沢大学人間社会学域)

1

## 目次

- 1. スマートリージョン論の体系
- 2. EBPMとは何か
- 3. 地域産業政策の分析
- 4. 地域人材エコシステム
- 5. 地域共創経済へ

3

### 証拠に基づく政策立案 (Evidence Based Policy Making)

- 元は英米を中心に、患者と共に方針を決める「根拠に基づく医療(Evidence-based Medicine:EBM)」が進展し、社会科学や政策の分野でも取り入れられた。
- イギリスでは、政府経済サービス(Government Economic Service)と呼ばれる独立した専門外部機関が、政策の監視と評価をEBPMに基づいて実施している。
- エビデンスとは、政策がアウトカム(成果)に影響を及ぼした因果関係をデータ分析で示すこと。
- エビデンスは1つではない(ポートフォリオ)。ある課題を解決するに際して、考えうる複数のアプローチの中から最適な選択をするためにエビデンスを用いる。

5

### 地方創生とEBPMの実際

- RESAS(Regional Economy and Society Analyzing System:地域経済分析システム)
- 地方創生推進交付金の評価方法: (1)RESASの活用などにより客観的なデータやこれまでの類似事業の実績評価に基づき事業設計がなされていること、(2)事業の企画や実施に当たり、地域における関係者との連携体制が整備されていること、(3)KPIが、原則として成果目標(アウトカム)で設定され、基本目標と整合的であり、その検証と事業の見直しのための仕組み(PDCA)が、外部有識者や議会の関与等がある形で整備されていること、(4)効果検証と事業の見直しの結果を公表するとともに、国に報告すること。
- 実際のKPIは、形式的対応にとどまっているケースが多い。KPIの数字合わせ。←管理主義、形式主義の弊害。

7

### 日本におけるEBPMの流れ

- 新統計法(2009):大学や研究機関が「匿名データ」を二次利用することを認める。
- 第5次科学技術基本計画(2011):客観的根拠(エビデンス)に基づく政策の企画立案を推進。
- 内閣府IT総合戦略本部「電子行政オープンデータ戦略」(2012):組織や業界内でのみ利用されているデータを公開し、分野横断型の取組み強化に利用。
- 首相官邸に「EBPM推進委員会」設置(2017)。
- 個人情報保護法改正(2017):個人情報情報を誰の情報かわからなくする「匿名加工情報」にすれば、本人同意を得なくても第三者に提供することが可能に。

6

### 地域がEBPMを実装するために

- 単なる分析ツールや評価項目が与えられるだけでは、EBPMは有効化しない。
- 地域にとってEBPMは地道なもの。大事なのは、システムよりも経験。
- 上からの管理主義的政策誘導ではなく、地域の多様な関係者によるボトムアップ型の政策連携が必要。
- 連携体制の中に地方大学や研究機関を取り込んで、自治体や政策関係者がEBPMの考え方を研究者らと共に実践し、次第にノウハウを習熟していく過程を重視。

8



№0304002

